

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	2019年9月30日
【四半期会計期間】	第22期第1四半期（自 2019年5月21日 至 2019年8月20日）
【会社名】	株式会社クスリのアオキホールディングス
【英訳名】	KUSURI NO AOKI HOLDINGS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 青木 宏憲
【本店の所在の場所】	石川県白山市松本町2512番地
【電話番号】	076-274-6115
【事務連絡者氏名】	取締役管理部門担当兼経営企画室長 八幡 亮一
【最寄りの連絡場所】	石川県白山市松本町2512番地
【電話番号】	076-274-6115
【事務連絡者氏名】	取締役管理部門担当兼経営企画室長 八幡 亮一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第1四半期連結 累計期間	第22期 第1四半期連結 累計期間	第21期
会計期間	自 2018年5月21日 至 2018年8月20日	自 2019年5月21日 至 2019年8月20日	自 2018年5月21日 至 2019年5月20日
売上高 (百万円)	61,712	72,209	250,885
経常利益 (百万円)	3,608	3,528	14,620
親会社株主に帰属する四半 期(当期)純利益 (百万円)	2,499	2,531	10,648
四半期包括利益又は包括利 益 (百万円)	2,466	2,540	10,580
純資産額 (百万円)	46,542	56,713	54,443
総資産額 (百万円)	117,865	140,656	136,210
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	79.35	80.31	337.86
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	79.30	80.31	337.78
自己資本比率 (%)	39.4	40.3	39.9

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2019年5月21日～2019年8月20日）におけるわが国経済は、企業収益・雇用環境の改善を背景に、景気は引き続き回復基調で推移いたしました。一方、米中間の通商問題を背景とした中国経済の成長鈍化、輸出や国内生産の弱さの継続など、先行きは不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、激しい出店競争や価格競争に加え、M&Aによる寡占化や異業種との競合により厳しさが増し、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「健康と美と衛生を通じて、社会から期待される企業作りを目指します。」という理念の下、地域のお客様に支持される売場づくりに努めるとともに、既存店の活性化に注力いたしました。

店舗の新設につきましては、ドラッグストアを、石川県に1店舗、富山県に3店舗、群馬県に1店舗、埼玉県に2店舗、栃木県に3店舗、茨城県に1店舗、岐阜県に1店舗、愛知県に2店舗、三重県に3店舗の合計17店舗の出店を行い、さらなるドミナント化を推進いたしました。

また、ドラッグストア併設調剤薬局を、石川県に2薬局、富山県に4薬局、福井県に1薬局、新潟県に1薬局、群馬県に1薬局、埼玉県に2薬局、栃木県に1薬局、茨城県に2薬局、千葉県に1薬局、岐阜県に1薬局、愛知県に1薬局、静岡県に1薬局、滋賀県に2薬局、福島県に2薬局の合計22薬局を新規に開設いたしました。

一方、ドラッグストア1店舗（スクラップ&ビルドによる退店）を閉店いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、ドラッグストア551店舗（内調剤薬局併設261店舗）、調剤専門薬局6店舗の合計557店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高722億9百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益33億83百万円（同4.0%減）、経常利益35億28百万円（同2.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益25億31百万円（同1.3%増）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は1,406億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億46百万円増加いたしました。主な増加要因は、商品の増加21億8百万円、現金及び預金の増加20億72百万円、新規出店等による建物及び構築物の増加17億29百万円等によるものであり、主な減少要因は未収入金の減少10億48百万円等によるものです。

負債合計は、839億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億76百万円増加いたしました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加38億39百万円等によるものであり、主な減少要因は、未払法人税等の減少16億6百万円等によるものであります。

純資産合計は567億13百万円となり、前連結会計年度に比べ22億69百万円増加いたしました。また、自己資本比率は40.3%となっております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年8月20日)	提出日現在発行数(株) (2019年9月30日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	31,525,260	31,526,260	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	31,525,260	31,526,260	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2019年9月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減 額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2019年5月21日～ 2019年8月20日 (注)	1,000	31,525,260	4	1,132	4	132

(注)新株予約権の行使による増加であります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年5月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年5月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,519,600	315,196	単元株式数100株
単元未満株式	普通株式 4,560	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	31,524,260	-	-
総株主の議決権	-	315,196	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式72株が含まれております。

【自己株式等】

2019年5月20日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有者株式の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社クスリのアオキホールディングス	石川県白山市松本町2512番地	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

(注) 当社は、単元未満自己株式72株を保有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年5月21日から2019年8月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年5月21日から2019年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,133	10,206
売掛金	3,207	2,567
商品	32,123	34,232
未収入金	8,734	7,686
その他	107	107
貸倒引当金	50	42
流動資産合計	52,257	54,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,174	60,903
土地	2,121	2,121
リース資産(純額)	3,587	3,960
建設仮勘定	3,003	2,827
その他(純額)	3,699	3,628
有形固定資産合計	71,587	73,441
無形固定資産	925	972
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,383	5,521
繰延税金資産	2,284	2,064
その他	3,772	3,899
投資その他の資産合計	11,440	11,485
固定資産合計	83,952	85,899
資産合計	136,210	140,656

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,977	36,817
1年内返済予定の長期借入金	5,289	5,329
未払法人税等	2,525	919
賞与引当金	1,111	527
ポイント引当金	3,368	3,613
未払金	6,917	6,618
その他	1,524	1,935
流動負債合計	53,714	55,761
固定負債		
長期借入金	20,998	20,613
リース債務	3,003	3,349
役員退職慰労引当金	183	190
資産除去債務	3,838	4,001
その他	27	27
固定負債合計	28,051	28,181
負債合計	81,766	83,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,127	1,132
資本剰余金	2,135	2,139
利益剰余金	51,090	53,339
自己株式	1	1
株主資本合計	54,352	56,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	51
その他の包括利益累計額合計	43	51
新株予約権	48	51
純資産合計	54,443	56,713
負債純資産合計	136,210	140,656

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年8月20日)
売上高	61,712	72,209
売上原価	44,220	52,601
売上総利益	17,492	19,608
販売費及び一般管理費	13,968	16,224
営業利益	3,523	3,383
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	1	1
受取手数料	58	84
賃貸収入	13	14
固定資産受贈益	15	12
貸倒引当金戻入額	5	7
その他	10	52
営業外収益合計	113	181
営業外費用		
支払利息	17	19
賃貸収入原価	8	9
その他	2	6
営業外費用合計	28	36
経常利益	3,608	3,528
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	3,607	3,527
法人税、住民税及び事業税	969	780
法人税等調整額	138	215
法人税等合計	1,108	995
四半期純利益	2,499	2,531
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,499	2,531

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年8月20日)
四半期純利益	2,499	2,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	8
その他の包括利益合計	32	8
四半期包括利益	2,466	2,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,466	2,540
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年8月20日)
減価償却費	1,246百万円	1,462百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年8月17日 定時株主総会	普通株式	251	8	2018年5月20日	2018年8月20日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月21日 至 2019年8月20日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年8月17日 定時株主総会	普通株式	283	9	2019年5月20日	2019年8月19日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは医薬品・化粧品等の小売事業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年8月20日)
(1) 1株当たり四半期純利益	79円35銭	80円31銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	2,499	2,531
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	2,499	2,531
普通株式の期中平均株式数(株)	31,498,198	31,524,349
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	79円30銭	80円31銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	19,502	1,422
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年9月30日

株式会社クスリのアオキホールディングス

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	田名部 雅 文 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	篠 崎 和 博 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	鹿 島 高 弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社クスリのアオキホールディングスの2019年5月21日から2020年5月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年5月21日から2019年8月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年5月21日から2019年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社クスリのアオキホールディングス及び連結子会社の2019年8月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。